

(公社)日本鑄造工学会・鑄鉄研究部会 シンポジウム
テーマ：鑄鉄の品質・信頼性向上とその評価、高度化に関する研究

溶解素材の安定供給，信頼される品質，技術の伝承，そして人材育成など鑄造業界には多くの課題があります。鑄鉄の用途の多くは自動車部品向けですが，環境・エネルギー分野への用途も広がりつつあります。このように，日本の鑄造業が国際競争力を持ち合わせて勝ち残るためには，製品の高品質でかつ高信頼性，機能性の向上を図る必要があります。また，こうした高い品質や信頼性を保証するためには，材料の評価技術も欠かすことはできません。

本部会では，鑄鉄の品質・信頼性の向上を追求すると同時に，技術の伝承と人材育成，SDGs を考慮した包括的な研究活動を推進し，鑄鉄の溶湯性状，組織，機械的性質，溶解設備や接種効果，鑄造欠陥対策，鑄物肉厚や成分元素の影響といった基礎研究，またそれらの評価技術の発展などが活発に議論できるように設定し，より高機能な鑄鉄が製造できる高度化技術を開発することを目的として共同実験や解析から研究活動を実施して参りました。

2025 年から本テーマで活動させていただいている「鑄鉄研究部会」のシンポジウムを下記のとおり企画致しましたので，皆様のご参加をお待ちしております。

記

1. 日 時 :2026(令和8)年7月31日(金) 10:00~15:55(予定)
2. 会 場 :機械振興会館6階(6D-3 室)【東京都港区芝公園3丁目5-8】
ならびに zoom ハイブリッド開催
3. 定 員 :80名(現地 40 名)
4. 会 費 :会員:13,000 円, 一般:26,000 円, 学生:1,000 円 (テキスト代を含む)
5. 申込締切 :2026(令和8)年X月X日までに、
日本鑄造工学会ホームページ(<https://jfs.or.jp/>)の
「シンポジウム申込フォーム」からお申込み願います。
6. お問い合わせ先:日本鑄造工学会事務局(東京都港区芝浦 4-15-33 芝浦清水ビル 2 階)
TEL.03-6809-2303/E-mail:jfes@jfs.or.jp

プログラム

10:00~10:05 開会挨拶

部会長 信木 関(近畿大学)

(基調講演)

司会・信木 関

10:05~10:50 基調講演①

鋳鉄の組織と機械的性質（特に摩耗特性・疲労特性）の相関関係

函館高専校長/室蘭工業大学名誉教授 ○清水 一道

10:50~11:35 基調講演②

高 Mn 片状黒鉛鋳鉄の組織と機械的性質に及ぼす CE 値, Mn/S 比, 接種および合金元素添加の影響

岩手大学 名誉教授 ○堀江 皓

11:35~12:10 基調講演③

世界最大級の鋳造魔鏡の製作

近畿大学理工学部 教授○浅野 和典, 魔境研究会 釘宮 公一

12:10~13:30 昼休憩

(研究発表)

司会・藤島 晋平(日下レアメタル研)

13:30~13:50 鋳鉄研究部会での球状黒鉛鋳鉄試料の組織と機械的性質

岩手大学 理工学部 ○平塚 貞人

13:50~14:10 鋳鉄研究部会での球状黒鉛鋳鉄試料の超音波試験

(有)日下レアメタル研 ○藤島 晋平

14:10~14:30 任意の応力比における球状黒鉛鋳鉄の疲労限度とそのばらつき予測

東京都市大学 理工学部 ○白木 尚人

14:30~14:50 球状黒鉛鋳鉄の回転曲げ疲労強度に及ぼす鋳型寸法の影響

東京都市大学 理工学部 ○白木 尚人

14:50~15:10 鋳鉄研究部会での試料の衝撃特性（鋳型寸法の影響）

近畿大学 工学部○信木 関, 同 旗手 稔

15:10~15:30 鋳鉄研究部会での球状黒鉛鋳鉄試料の疲労強度

函館高専 清水 一道, 室蘭工業大学 理工学部○楠本 賢太

15:30~15:50 固溶強化フェライト基地球状黒鉛鋳鉄の被削性評価

函館高専 清水 一道, 室蘭工業大学 理工学部○楠本 賢太

15:50~15:55 閉会挨拶

前部会長・白木 尚人(東京都市大学)

以上